

| 科目名 | 卒業制作 | | | | | | 年度 | 2026 | |
|---|-------------------------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-----|----|------|----|
| 英語科目名 | Graduation project studio | | | | | | 学期 | 後期 | |
| 学科・学年 | 土木・造園科 2年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 240 | 単位数 | 8 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 奥山新吾、鶴田真二、右田順三、熊谷直紀、松浦弦三郎 | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | | 設計 | | |
| 【科目の目的】 土木・造園分野での学びの集大成として、計画・設計・施工の一連のプロセスを経験し、現実社会での応用力、協働の重要性、安全管理、責任感、そして最終的にプロジェクトを完遂することで達成感と自信を得ることを目指します。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 2年間の集大成として構造物や庭園などの計画・設計～模型制作・施工などに取り組み、成果をまとめます。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 次の4点を到達目標とする。 ①土木・造園それぞれの学習内容を目の前の現実に応用できる。②自分と考え方も能力も違う人間とコミュニケーションをとって協働作業を成立させることができる。③安全かつ正確に作業を進めていくことの重要性を理解する。④真剣に取り組み、最後まであきらめず完成させることで、社会に出て活躍するための自信を持つことができる。 | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 建設機械類を使用する場合は、必ず教員の許可と立ち合いのもとで使用すること。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。チームでの協力が欠かせないため、勝手な行動は慎むこと。その他、これまでの実習で学んできたことを一つ一つ確実にこなすこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | 学んだ知識を現実的に確に 応用でき、応用力が非常に高い。 | メンバーと円滑に協力し、 協働の中心的役割を果たす。 | 作業の安全・正確性を常に 重視し、リスクを適切に管理できる。 | プロジェクトに責任を持ち、 真剣に取り組む姿勢が顕著である。 | 最終成果物の完成に強い 達成感と自信を持っている。 | | | | |
| 到達目標 B | 知識を応用する力が高く、 概ね現実に反映できる。 | 他者と円滑に協力し、積極的 に作業を進めることができる。 | 安全と正確性を意識して 作業を進められる。 | 最後まで取り組む責任感 があり、結果を残せる。 | 成果物の完成である程度 の達成感と自信を持つ。 | | | | |
| 到達目標 C | 基本的な応用力があり、 指導を受ければ現実に適用 できる。 | 他者との協力にある程度 貢献し、協働作業を進める ことができる。 | 必要な安全対策をとれる が、一部のミスが発生する ことがある。 | 完成に向けた責任感はある が、時に進捗に困難が生じる。 | 一部達成感を得るが、改善 点も感じる。 | | | | |
| 到達目標 D | 知識の応用が一部に限られ、 指導が必要である。 | 協力する姿勢はあるが、 指導が必要な場面が多い。 | 安全に関する注意が不足し、 問題が発生しやすい。 | 責任感に乏しく、進捗が 遅れることがある。 | 達成感が低く、自信に欠 ける面がある。 | | | | |
| 到達目標 E | 知識を現実に応用できない。 | 他者との協力が難しく、 協働が進みにくい。 | 安全に対する意識が欠け、 リスク管理ができない。 | 最後まで取り組む姿勢が 欠け、責任感が薄い。 | 完成が難しく、達成感や 自信を感じることができない。 | | | | |
| 【教科書】 特になし | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 制作課題の設定、取り組み、成果を総合的に評価する。 | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

| 科目名 | | 卒業制作 | | | 年度 | 2026 | |
|------|-----------|---------------------------|------|--------------|--------------------------|------|--|
| 英語表記 | | Graduation project studio | | | 学期 | 後期 | |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 | |
| 1 | 課題・概要説明 | テーマと敷地選定を理解している | 1 | テーマ | 社会問題＝テーマから考える重要性を理解している | 1 | |
| | | | 2 | 敷地調査 | 敷地選定の重要性を理解している | | |
| | | | 3 | 用途検討 | テーマに沿った用途選定のできる | | |
| 2 | エスキス | 類似施設・類似のテーマなどを調査ができる | 1 | 類似施設調査 | 類似施設の調査や分析の重要性を理解している | 1 | |
| | | | 2 | 類似テーマ | 類似テーマの調査や分析の重要性を理解している | | |
| 3 | エスキス | コンセプトを明確に表現する | 1 | コンセプト | コンセプトを明確に言葉で表現できる | 1 | |
| | | | 2 | 考察 | コンセプトと調査・分析内容から考察できる | | |
| | | | 3 | エスキス | 考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる | | |
| 4 | エスキス | コンセプトを明確に表現する | 1 | エスキス | 考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる | 1 | |
| | | | 2 | 関連法規 | 関連法規の基本を押さえて計画できる | | |
| | | | 3 | 構造 | 構造を踏まえて自由な計画ができる | | |
| 5 | エスキス | コンセプトを明確に表現する | 1 | エスキス | 考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる | 1 | |
| | | | 2 | 計画・法規 | 基本を押さえて計画できる | | |
| | | | 3 | 構造 | 構造を踏まえて自由な計画ができる | | |
| 6 | 中間発表 | テーマの趣旨・内容を理解し計画できる | 1 | スケジュール | スケジュールを守り、計画できる | 2 | |
| | | | 2 | コンセプト | 緒条件を整理しコンセプトをまとめ上げ、計画できる | | |
| | | | 3 | 機能・動線 | 機能と利用者動線を理解し、計画できる | | |
| 7 | エスキス | 中間発表での問題点を解決できる | 1 | エスキス | 指摘された内容を基に、的確に建築物を計画できる | 1 | |
| 8 | 作図制作 | 図面の整合性 | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | 構造・設備・法規 | 図面上に構造・設備などの表現ができる | | |
| 9 | 作図制作 | 図面の整合性 | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | 構造・設備・法規 | 図面上に構造・設備などの表現ができる | | |
| 10 | 作図制作 | 図面の整合性 | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | 構造・設備・法規 | 図面上に構造・設備などの表現ができる | | |
| 11 | 作図・模型制作 | 図面の整合性・模型の丁寧さ | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | 構造・設備・法規 | 図面上に構造・設備などの表現ができる | | |
| | | | 3 | 模型 | 丁寧に模型を押し上げることができる | | |
| 12 | 作図・模型制作 | 図面の整合性・模型の丁寧さ | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | 構造・設備・法規 | 図面上に構造・設備などの表現ができる | | |
| | | | 3 | 模型 | 丁寧に模型を押し上げることができる | | |
| 13 | プレゼン・模型制作 | プレゼンシートをまとめることができる | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | プレゼンシート | グリッドに則って見やすく伝わりやすい表現ができる | | |
| | | | 3 | 模型 | 丁寧に模型を押し上げることができる | | |
| 14 | プレゼン・模型制作 | プレゼンシートをまとめることができる | 1 | 図面 | 図面の整合性が取れている | 1 | |
| | | | 2 | プレゼンシート | グリッドに則って見やすく伝わりやすい表現ができる | | |
| | | | 3 | 模型 | 丁寧に模型を押し上げることができる | | |
| 15 | 長期課題最終提出 | 作品を展示し、図面や模型の表現力などを確かめる | 1 | 提出物の完成 | 提出物に過不足なくつくり、期限内に提出している | 3 | |
| | | | 2 | 設計内容 | 自らのコンセプトを基に、明確に計画し表現できる | | |
| | | | 3 | 他作品の評価 | 他者の作品を見て、評価および共感ができる | | |

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等